



図書館だより

2022年 5月



目に鮮やかな新緑、花々が咲き乱れ、5月は1年中で最もさわやかで過ごしやすい時期です。5月に吹くさわやかな風を薫風（くんぷう）と言います。初夏のかおりを漂わせる風としてふさわしい名前ですね。

☆新しく来られた先生からの「おすすめ本」を紹介します。

☆「心」がちよっと疲れてませんか?! ~心を癒す本~

疲れた時は、無理せず、静かにのんびり読書をしましょう。新しい発見が必ずあります。(#.~#)

「心」がちよっと疲れてませんか?!
~心を癒す本~

『10代のための疲れた心がラクになる本』
長沼睦雄 著 誠文堂新光社

先生からの「おすすめ本」

『虚ろな十字架』 東野圭吾 著 光文社

この小説は「死刑制度」の是非を含めた人類の根源的問題に関する話です。現在、死刑制度を用いている国は数ヶ国となっています。なぜ、「死刑制度」が敬遠傾向にあるか、この小説を通じて考えるきっかけになってほしいです。

この本は私の人生観に大きく影響を与えました。物事や事象の捉え方を、感情と理性、そして論理で分離する重要性を問っています。法律に興味がある人、法曹業界志望の人におすすめする本です。(2部社会科 西本先生)



『嘘つきアーニャの真っ赤な真実』

よねはら まり
米原万里 著 角川書店

エリツイン元大統領から特に信頼されていたことでも知られる著者のエッセイです。冷戦期の国際情勢を、個性豊かな友人たちとの交流から知ることができます。彼女たちとの再会は、推理小説の謎解きを読んでいるようで、非常に面白いです。

国籍がバラバラの少女たちと著者との交流を通して描かれていることは、日本で暮らす我々には、想像し難いものです。

昨今のウクライナをめぐる情勢を考えると、たくさんの人に読んでもらいたいと思い、この本を推薦しました。(1部社会科 佐藤先生)



『心と体がラクになる読書セラピー』
寺田真理子 著 ディスカヴァー・トゥエンティワン

本を読んで勇気づけられたり、自分だけじゃなかったとほっとしたりしたことはありませんか。このように読書で心が癒されることを「読書セラピー」と言います。悩んだり、落ち込んだりして心がざわざわして落ち着かない時に、何を読めばいいのかを、この本は教えてくれます。マンガ、絵本、写真集、実用書、自己啓発書、小説、どんな本でもOK! 「自分の体や心のために」本を読んでみませんか?

鳥の本特集

壁面飾り



< 本の返却を忘れていませんか? >

借りた本を期限までに返却していますか?
返却は図書館カウンターまたは返却ボックス
を利用してください。返却ボックスは、図書館1階
別館1階、第3別館1階にあります。

